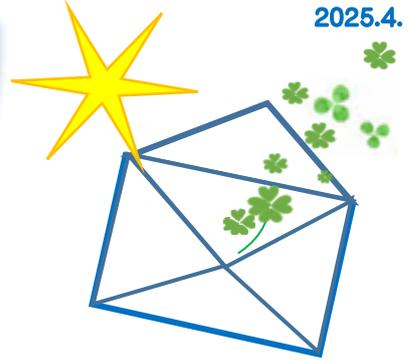


だれもがキラリ



平成14年4月、玉野市男女共同参画相談支援センターが開設され、来年度で24年目を迎えようとしています。以来、「誰もがいきいきと自分らしく生きていくことのできるたまの」に向かって様々な取組を行ってきました。平成17年度発刊から一時発行を休止しておりました男女共同参画情報紙を今年度より再開し、情報提供を行っていきます。情報紙名も一新して不定期に発刊の予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

多様な性を知ろう

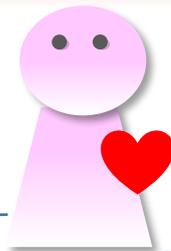
世の中の「ひと」はみんな自分と同じでしょうか？

人は個性にあふれています。年齢、国籍、性格、使う言葉、身体の特徴、得意なこと、苦手なもの……。それぞれに多様なバリエーションがありますね。
性別はどうでしょう。こんなイメージをもっていないか。

一般的な「女性」イメージ

身体が女なら
自分のことを女と思っているはず

女に見える人は
身体も女の機能をもっているはず



「女」と「男」の文字を入れ替えると一般的な男性イメージになります

女は必ず男を好きになるはず

女は女の服装や役割をするはず

こころと身体の性が合わなかったり、同性が好きだったりなど、性的に少数派であることをセクシャルマイノリティ（性的少数者、性的マイノリティ LGBTQ+）といいます。セクシャルマイノリティの人の割合は、約10人に1人といわれています。これはAB型の人や左利きの人の割合とほぼ同じです。



約10人に1人



左利き



AB型



クラスに1~2人

ひとの「性」って何だろう。考えたことはありますか？

「性は女と男の二つだけ」でしょうか。人の「性」は何を指すのでしょうか。あまり意識していない人のほうが、多いのではないのでしょうか。でも、性のあり方は人格の重要な要素であり、日常生活や生き方にも影響しています。

セクシュアリティは、「4つの性」などであらわされます

からだの性

(生物学的性)

生物学的な性やからだの性

こころの性

(性の自己認識/性自認)

自分の性をどう考えているか

好きになる性

(性的指向)

性的な関心がどの性に向くか向かないかのこと

性役割

(性表現)

着るものや言葉遣いなど自分の性をどう表現するか

ひとの性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「性役割」のそれぞれの要素は「女」「男」に二分できないグラデーションです。そして、一人ひとり違います。

LGBT とは？

L レズビアン

“性的指向”が女性を恋愛対象として好きになる女性

G ゲイ

“性的指向”が男性を恋愛対象として好きになる男性

B バイセクシャル

“性的指向”が男性も女性も好きになる人

T トランスジェンダー

身体的な性と“性自認”が一致していない人

✓ **性同一性障害**とはトランスジェンダーのうち医療的対応を求める人への診断名

LGBTQ+ の Q+ って何？

アセクシャル

他者に対して性的欲求や恋愛感情を抱かない人

クエスチョニング

自分の性自認や性的指向が定まっていない人や意図的に定めていない人

Xジェンダー

“性自認が男女どちらでもない人”、“どちらとも言い切れない人”などのこと

シスジェンダー

性自認と生まれたときの性別が一致している人

「LGBTQ」で表されるセクシュアリティ以外にも性のあり方は様々であることから、「LGBTQ+（プラス）」、「LGBTs（複数形のs）」という言葉も生まれています。

重要なのは、セクシュアルマイノリティはLGBTの4つだけでは分類できず、無数のあり方が存在しているということです。

そのほかにもいろいろな用語があります

カミングアウト

自分自身の性的指向や性自認を打ち明けること。

アウトティング

ある人のセクシュアリティを承諾なく、他人に言いふらしたり、SNS に書き込んだりすること。

SOGI(ソジ)

すべての人がもっている性的指向、性自認のこと。人それぞれ違った SOGI をもっている。

ALLY(アライ)

LGBTQ+ の理解者・理解者・応援者のこと。



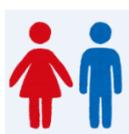
LGBTQ+には、多様な性のあり方、用語があります。大切なのは、言葉をたくさん知っていることよりも「当事者の方がどう思っているのか」、「自分自身がどう寄り添っていけるのか」を考え、思いを巡らせることです。

本来、性のあり方は多様であり、自身が無理やり変えようとしても変えることはできません。そして、そこから生まれる苦しみがあることを認識しておきましょう。

社会には、性にかかわる数々の場面があります。一般的な「女」「男」イメージがその前提となっているため、それと異なる特性や価値観をもつ人たちは、人生のさまざまな転機や日常生活の中で、悩みを抱えることがあります。



制服



トイレ



恋愛



就職



結婚



病院

Q.これまでにつらかったことや今悩んでいることは？

◆学校に通っていたころ、制服や水着になるのがどうしても嫌だった。

(20代 トランスジェンダー)

◆職場での「結婚して子どもがいて当たり前」という空気になじめない。

(50代 レズビアン)

◆男女どちらのトイレにも入りづらいので公共の場に多目的トイレを増やしてほしい。

(30代 トランスジェンダー)

◆「異性を好きになるのが当たり前」と先生が言うのを聞いて「自分は普通じゃないんだ、どうしよう」となやん。

(20代前半 ゲイ)

参考文献等：プライド岡山、岡山市「教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて」、新見市情報紙「りぼん」、長崎県「多様な性への理解と対応ハンドブック」



県内の支援団体です

にじ-ずは 10代から 23歳までの LGBT やそうかもしれない人が友達を作ったり、遊んだり、のんびりしたりできる無料の居場所です。岡山では毎月1回、男女共同参画推進センター（ウィズセンター）を会場として開催しています。

<岡山ににじ-ず HP <https://24zzz-lgbt.com/blog/okayama/>>

ひとりで悩まず、相談してください

玉野市では、性的指向や性自認に関する悩みについて相談を受け付けています。相談は無料です。秘密は厳守します。

玉野市男女共同参画相談支援センター

さんざん なやむな

玉野市奥玉1-18-5(すこやかセンター内)

Tel: 0863-33-7867

相談時間 8:30 ~ 16:00 (土日・祝日・年末年始 12/29~1/3 を除く)



絵本・書籍のご紹介

玉野市立図書館の蔵書の中から、相談員(玉野市男女共同参画推進センター)が選んだ書籍をご紹介します。このほかにもたくさんの蔵書がありましたので、手に取ってみてください。

「あなたの国では」



著:小手鞠 るい さ・え・ら書房
日本では当たり前だと思われていることだって、もしかしたら、ほかの国では、そうではないのかもしれない。その答えを知りたくて、ほくは長い旅に出た——

「恋せぬふたり」



著:吉田 恵里香 NHK 出版
NHK ドラマの小説版。アセクシュアル・アロマンティック(恋愛感情を抱かず、性的にも惹かれられない)の二人が、自分たちなりの生き方を模索すべく始めた共同生活。その生活の先にある、それぞれの「幸せ」のあり方とは!?

「ぼくのスカート」



作・絵:ピーター・ブラウン
監修・訳:日高庸晴 小学館
なぜかいつも服を着ないフレッドくん。あるとき、おかあさんの服を着てお化粧もしてみます。すると「とってもいい感じ!」その姿を見た両親は、どうするのでしょうか?家族のふれあいと個性の尊重を教えてくれる。

「LGBT 何でも聞いてみよう 中・高生が知りたいホントのところ」



著:QWRC&徳永桂子 子どもの未来社
同性も異性も好きなのって LGBT? 性別って変えられる? 「性の多様性」を中心に、中・高生から実際に出た質問に答える Q&A 方式で、具体的に「性」について考える。

そのほかの蔵書

関連の蔵書は挙げている他にもあります

「LGBTQ を知っていますか?
“みんなと違う”は“ヘン”じゃない」
監/著:日高 庸晴 少年写真新聞社

「LGBT ってなんだろう?
からだの性・こころの性・好きになる性」
著:薬師 実芳 合同出版

「好きのありかた
LGBT だけじゃない!わたしの性」
監修:佐々木 掌子 国土社

「からだの性
LGBT だけじゃない!わたしの性」
監修:長谷川 奉延・佐々木 掌子 国土社

「おやこで話すはじめての LGBTs
きみは世界でただひとり」
著:鶴岡 そらやす
日本能率協会マネジメントセンター

「元女子高生、パパになる」
著:杉山 文野 文藝春秋

当センターの蔵書です。
セーラー服を着ていた・・・トランスジェンダー男性と、パートナーの女性、そしてゲイの親友と、彼らの赤ちゃんの「4人家族」の物語。

【編集/発行/問合せ先】

玉野市男女共同参画推進センター 玉野市奥玉 1-18-5 (すこやかセンター内)
TEL:(0863) 33-7867 E-mail: danjyo@city.tamano.okayama.jp